



表紙のことは

1月1日号は、お正月ならではの写真を皆さんにお届けしようと、市内の着付け教室に通う女性に振り袖を着てもらいました。今年は、百人一首を楽しむ風景を撮影。詠み始めると「田子の浦に…」と有名なものから、「そんなのあったっけ？」というものまでいろいろ。高校生のころ、苦勞して百人一首を暗記したはずなのに…。華やかな雰囲気にもまれながら、一足早いお正月気分を味わいました。

市民の動き

人口 / 85,046人 (前月比+103人)

(外国人登録者3,732人含む)

男性 / 42,944人 (前月比+51人)

女性 / 42,102人 (前月比+52人)

世帯数 / 29,371世帯(前月比+69世帯)

平成18年12月1日現在



2007年(平成19年)1月1日発行 第43号

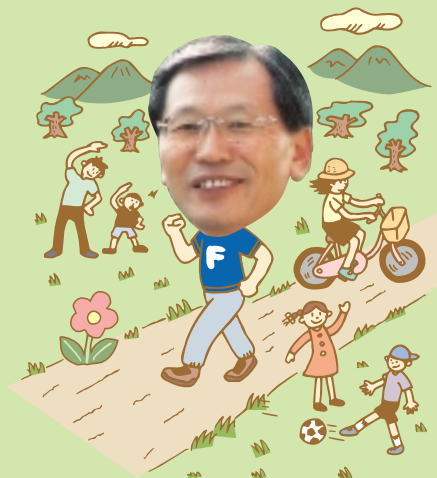
編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)
【ホームページ】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
【携帯サイト】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>
【Eメール】
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



新年おめでとございます。元日は、午前中に様々な用事を済ませ、午後はこたつで年賀状をゆつくり見るのが楽しみだ。中旬ごろにお年玉の当選番号を見るのも楽しい。切手シートであっても当たればうれしいが、2等が当たって、CDプレーヤーをもらったこともあったから、よく見た方がいい。就職してしばらくは、手書きの年賀状を出していたが、財政担当になってから、12月・1月は残業続きとなり、いつの間にか印刷が変わった。それでも自分の手で一行加えることを心掛けた。友人に勧められて、版画を試みた時期もあった。器用ではないが、

「年賀状」

根気強い方なので、時間を掛けてじっくり彫った。刷りも重要で、濡らしたボール紙の間にはがきを入れてしめらせ、のりを混ぜた絵の具で、1枚1枚丁寧に刷った。いつも版画の年賀状をくれる友人には、特に上手にできたものを送った。アメリカ滞在中は、クリスマスカードが代わりになった。きれいな絵がついたものや聞くとき音が鳴るものなどたくさん種類があり、送る相手に合わせたカードを選ぶのが、時間が掛かって大変だ

だったが、楽しみでもあった。今は、パソコンで裏面を作り、住所、氏名のみ手書きで行う。毎日忙しいので、年1回の消息を知らせ合い、励まし合う年賀状は、私にとって貴重な存在で、省くと友人や知人が減ってしまいそうな気がして、できる限り、手書きの言葉を入れることにしている。しかし、市内の方には、公職選挙法上出せないの、失礼している。私たちは、お互いに思いやっても、離れて生活していると次第に気持ち伝わらなくなってしまうことが多い。面倒がらず、照れないで、自分の気持ちを素直に書いて出せば、相手に伝わって、幸せな関係が続いていくと思う。